

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公表番号】特表2016-501925(P2016-501925A)

【公表日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-005

【出願番号】特願2015-539833(P2015-539833)

【国際特許分類】

C 08 G	18/65	(2006.01)
C 08 G	18/10	(2006.01)
B 32 B	27/00	(2006.01)
B 32 B	27/40	(2006.01)
B 29 C	47/00	(2006.01)
B 29 K	83/00	(2006.01)
B 29 L	7/00	(2006.01)

【F I】

C 08 G	18/65	D
C 08 G	18/10	
B 32 B	27/00	1 0 1
B 32 B	27/40	
B 29 C	47/00	
B 29 K	83/00	
B 29 L	7/00	

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

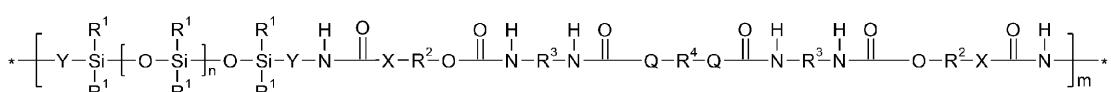
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)の共重合体を含む組成物。

【化1】



(I)

(式中、

それぞれのR¹は、独立に、アルキル、ハロアルキル、アラルキル、アルケニル、アリール、又はアルキル、アルコキシ、若しくはハロで置換されたアリールであり、

それぞれのR²は、独立に、アルキレン、又はアリールで置換されたアルキレン、又はそれらの組合せであり、

それぞれのR³は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はアルキル基、ハロ基、オキシ基若しくはカルボジイミド基で置換されたアリーレン、ハロアラルキレン、シクロアルキレン、又はカルボジイミド基で置換されたシクロアルキレン、又はそれらの組合せであ

り、

それぞれの R⁴ は、独立に、アルキレン、フルオロアルキレン、アルキレンオキシド、アラルキレン、フルオロアルキレンオキシド、又はそれらの組合せであり、

それぞれの X は、独立に、オキシ又は -CH₂- であり、

それぞれの Y は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はそれらの組合せであり、

Q は、オキシ又は -NH- であり、

n は、0 ~ 1500 の範囲内の整数であり、

m は、少なくとも 1 に等しい整数である)

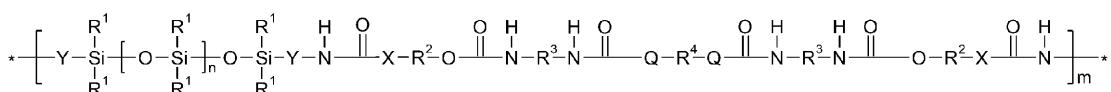
【請求項 2】

物品であって、

第 1 の基材と、

前記基材に隣接したポリマー層とを含み、前記ポリマー層が式(I)の共重合体を含む
、物品。

【化 2】



(I)

(式中、

それぞれの R¹ は、独立に、アルキル、ハロアルキル、アラルキル、アルケニル、アリール、又はアルキル、アルコキシ、若しくはハロで置換されたアリールであり、

それぞれの R² は、独立に、アルキレン、又はアリールで置換されたアルキレン、又はそれらの組合せであり、

それぞれの R³ は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はアルキル基、ハロ基、オキシ基若しくはカルボジイミド基で置換されたアリーレン、ハロアラルキレン、シクロアルキレン、又はカルボジイミド基で置換されたシクロアルキレン、又はそれらの組合せであり、

それぞれの R⁴ は、独立に、アルキレン、フルオロアルキレン、アルキレンオキシド、アラルキレン、フルオロアルキレンオキシド、又はそれらの組合せであり、

それぞれの X は、独立に、オキシ又は -CH₂- であり、

それぞれの Y は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はそれらの組合せであり、

Q は、オキシ又は -NH- であり、

n は、0 ~ 1500 の範囲内の整数であり、

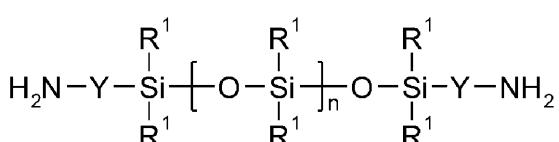
m は、少なくとも 1 に等しい整数である)

【請求項 3】

共重合体の製造方法であって、

(a) 式(II)のポリジオルガノシロキサンジアミンを提供するステップと

【化 3】



(I I)

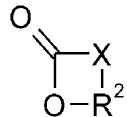
(式中、

それぞれの R¹ は、独立に、アルキル、ハロアルキル、アラルキル、アルケニル、アリール、又はアルキル、アルコキシ、若しくはハロで置換されたアリールであり、

それぞれのYは、独立に、アルキレン、アリーレン、又はそれらの組合せであり、nは、0～1500の範囲内の整数である）、

(b)式(II)の前記ポリジオルガノシロキサンジアミンを式(III)の環式化合物と反応させ、

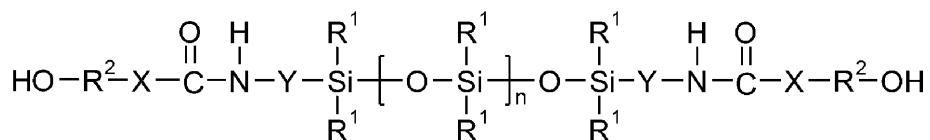
【化4】



(III)

式(IV)のポリジオルガノシロキサンジオールを形成するステップと

【化5】



(IV)

(式中、

それぞれのR²は、独立に、アルキレン、又はアリールで置換されたアルキレン、又はそれらの組合せである）、

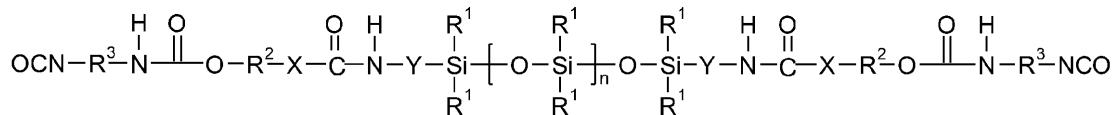
(c)式(IV)の前記ポリジオルガノシロキサンジオールを式(V)のジイソシアネートと反応させ、



(V)

式(VI)のポリジオルガノシロキサンジイソシアネートを形成するステップと

【化6】



(VI)

(式中、

それぞれのR³は、独立に、アルキレン、アリーレン、又はアルキル基、ハロ基、オキシ基若しくはカルボジイミド基で置換されたアリーレン、ハロアラルキレン、シクロアルキレン、又はカルボジイミド基で置換されたシクロアルキレン、又はそれらの組合せである）、

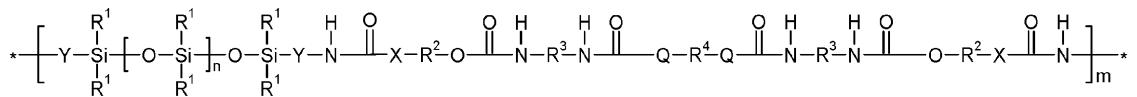
(d)式(VI)の前記ポリジオルガノシロキサンジイソシアネートを式(VII)の鎖延長剤と反応させ、



(VII)

式(I)の前記共重合体を形成するステップと

【化7】



(I)

(式中、

それぞれの R⁴ は、独立に、アルキレン、フルオロアルキレン、アルキレンオキシド、アラルキレン、フルオロアルキレンオキシド、又はそれらの組合せであり、

Q はオキシ又は - NH - であり、

m は、少なくとも 1 に等しい整数である) の生成物を含む工程、を含む、方法。